

各事業所で実施している活動プログラムの目的・具体的内容

児童デイサービス とみぐすく（放課後等デイサービス）

①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性

	項 目	活動プログラムのねらい	具体的な支援内容	5領域の分類
1	サーキット運動・体操・ダンス	- 自身の体の動きと感覚とのバランスを身につけます。 - 運動を通して体幹機能の向上を図ります。 - 手順を言葉または視覚などで理解します。 - 達成感を得る事で自信を身につけていきます。 - 集団活動を通じて社会性や協調性のスキル向上を図ります。	- 毎月1回、曜日もランダムに続けて同じ曜日にならないように設定。 - バランスボード、一本橋、ケンケンバー、ボール転がし、ネットくぐり、物を持ち段差越え、まりつき、バランス積みなどの中から3～4のメニューで行います。 - 内容を決める際は当日利用児童の年齢や、機能部分を考慮して考えます。	②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
2	感 触 遊 び	- 感覚過敏の軽減を図ります。 - 感触に応じた力の加減を身につけます。 - さまざまな感覚を体感することで創造性を伸ばしていきます。	- 水遊び（遊びを通じて 水への苦手意識を減らしていきます） - 粘土（力の入れ方で形状が変わり、作りたい形のイメージと手先の動かし方をつなげていく） - 片栗粉やスライム（様々な材料が混ざる事で感触にも変化がでることを学ぶ） - 土や畑（手や足の裏に土が付いたり 汚れるとすぐに洗いたい。作業の途中であればここまでやってから手を洗おうよと声掛けしたり、手袋をつけるなど触れるものに応じた対策を身につけていく） - 虫取り（生き物に対しての力の加減や、触れても大丈夫・触れるとあぶないなどの理解に繋げる）	②運動・感覚 ③認知・行動
3	しゃぼん玉遊び 風船遊び 歯みがき おやつ	- 口腔内の動きの強化を図ります。 - 発語の訓練。	- しゃぼん玉を吹く（ストローや輪っか） - 風船を太めのストローを付けてふくらませる。 - 歯の磨き方指導（鏡をみながら自分の口の中を見て磨く、うがいの仕方。ぶくぶく、ゴロゴロなど） - おやつ（食べ方の説明や注意などあれば先に伝える）飲み込みなどには注視を要す。	②運動・感覚
4	戸 外 活 動 （ 散 策、 施 設 見 学、 公 園、 畑 作 業 等 ）	様々な場面や場所にに応じたルールやマナーを学び、体験や経験を積むことで安心・安全に楽しく過ごせる場所を広げていきます（体力の向上や気分転換、視野を広げるなど様々なスキルアップに繋げて行きます）	- 近隣散歩（前を見て歩いたり、交通ルールや危険回避を学ぶ） - 公園（遊具の使い方や順番待ち・ゆずり合いなど身につけていく。疲れたら水分を取り休憩するなど） - 図書館（静かに過ごしたり、本を読んだら元の場所に戻していく） - 博物館、工場見学（様々な視点から興味関心を広げていく） - ゴミ拾い（いつも使っている場所を掃除する）	①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ⑤人間関係・社会性
5	フリント学習宿	- 学習面でのサポートを行います。 - 苦手をできるになる事で自信に繋がっていきます。	- 読み書きの練習（ひらがな、カタカナ、漢字。文字の理解や季節の言葉、物の名前など） - 数の理解（足し算、引き算、掛け算、割り算などの計算。時計の理解や金銭のやりとりなど） - 他 シール貼り、マッチング、座位の保持や集中の促しなど 個別に応じた取り組みでサポートを行います。	②運動・感覚 ③認知・行動
6	活 動 前 の ルール の 説明・ 一日のスケジュールの確認	- 活動の目的を理解します。 - 見通しを持って取り組みます。	- 一日の過ごし方を知ることで生活リズムを整えます。 - 見通しを持つことで不安の軽減を図り、自発的な意見や行動の表出に繋がて行きます。 - 目的に沿った行動がとれるよう確認を行います。 - 就労に向けたスケジュール管理。	①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ⑤人間関係・社会性
7	みんなで決めよう	- 自分のやりたいことを伝えられる。 - 他者の意見や考え方から学ぶ（相手への理解） - 折り合いの付け方や気持ちの切り替え方などを他者とのやりとりを通じて学んでいく（社会性や協調性）	- 活動の計画を皆で意見を出し合い決めていきます。 - 職員は個人の性格や特性に応じて会話をリードしたり、促しなどアプローチを行います。 - 個々に応じた役割をもたせることで、自信や意見に対しての納得に繋がていきます。	④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
8	おやつ作り クッキング	- 食に対しての興味関心を広げていく。 - 手順を知ることや、食べ物などの名前を覚える。 - 器具などの使用の際には危険があることも教えていく。	- 事前に手順の説明を行い、目的を皆で共有します。 - 安全に実施できる環境を整え取り組みます（一度に行わず分けて行う、1人ずつ呼んで役割分担して作るなど。道具の扱いについてはその都度説明しながら手もとをきちんと見てもらい行います。 - 好き嫌いがある児童に対してチャレンジは促すも無理はさせない。食べる事ができた際には嬉しいを伝えていく。	①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
9	買い物支援、 公共バス、 モノレールの乗り方	- 金銭のやり取りを身につけます。 - 公共機関や様々な施設の利用に繋がていきます。	- 目的に応じた公共機関や施設の利用を学びます。 - 場面に応じた金銭のやり取りを身につけていきます（お金を扱う時には、お金を持たせて自分で支払いをしてもらい、側で職員が付き添いながら支払い方法やお金の計算などでサポートを行います。 - 公共の場でのルールもその都度 声かけや説明を行います（静かにする、急に走り出さないなど） - マンツーマン対応を要す場合は、様々な課題や行動を想定し安全対策をとり支援を行います。	③認知・行動 ⑤人間関係・社会性
10	制 作 活 動 カレンダー制作	- 制作する楽しさを活動として取り組みます。 - 用具の使用法など学び身につけていきます。 - 作業工程を学ぶ（切る・貼る・書く・組み合わせるなど） - 創造性やデザインバランス、季節や行事に関する理解。	- 見本を見せて何を作るか説明する（季節や行事、児童達が興味をむける飾りつけなど工夫する） - 児童の創作意欲を引き出し、作業への集中を促します（苦手なことがあればサポートしていく） - 制作過程を覚えることで、他の物づくりにチャレンジできます。 - 完成した制作物を皆に見てもらう事で喜びを共有します（後日持ち帰り 家族にもできることを伝えます）	②運動・感覚 ③認知・行動
11	自 由 遊 び	- 余暇の過ごし方を身につける。 - お友達との関わり方を学んでいきます。 - 安心できるルーティンや遊びがあります。	- やりたいことを職員に伝えたり、一緒にやろうと職員やお友達に声を掛けることができるようサポートします。 - 自身の楽しいを皆で共有する事でコミュニケーションを広げていきます。 - 関わりを通じて新しい発見に気づいてもらう（遊び方であったり、コミュニケーションスキルの向上など） - 個人と集団の遊びを使い分けることで、自身の安心・楽しいと感じてもらえるペースを尊重し、相手にも理解してもらえるようサポートしていきます。	②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
12	BBQ、クリスマス会 などのイベント等	- 行事やイベントを皆で楽しむことができる。 - 楽しい気持ちを共有することで信頼関係を育む。 - 楽しい気持ちを各々の役割などでも発揮してもらい、頑張ったことや成功体験を自信に繋がていきます。 - イベントによっては 利用者家族との交流の場としても活用していきます。	- 行事やイベントに向けた準備を行います（企画の立案や必要な物品等の準備、施設等への確認など） - 児童達にも役割を割り振ったり、使用する物品等も活動を通して作成・準備していきます。 - 当日は児童達が安全に活動できるよう見守りしながら、皆で成功をめざします（楽しんでもらう） - 行事やイベント活動を通じて利用者家族、または家族間の交流を図ります。	④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
13	朝の会・帰りの会 当 番、 発 表	- 言葉で伝えることの練習。 - 自分なりの伝え方で相手に理解してもらい、発表の場でどこまで言葉の成長があるか確認し、次のアプローチに繋がていきます。	- 当番は毎日日替わりでランダムに決めています（全員が均等にまわるように） - 当番は活動の挨拶、朝の会や帰りの会の司会をする。お友達と職員の名前を読む。呼ぶのが難しい子は職員と一緒に付き添い、名前を伝え手をタッチしてまわります。 - 発表したいことがある人を確認します。朝ごはんは何を食べた、今日は何をしたなど、自分の好きな事を発表しても良い。内容を聞きながら、本人の言葉を周りがきちんと聞いているという事を知ってもらいます。聞き取りづらい発音は 周りの人が聞きやすくなるように職員がサポートしながら伝えてもらいます。 - 発表する事で、言葉の訓練や成長、自信を得るなど繋がていきます。	②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
14	おしゃれチェック	- 身なりチェックすることで清潔を保ちます。 - 気づきを促すことで、自発的に正せるようになる。	髪、服装、爪、目やに、鼻水などの全10～13項目をチェック形式で行っています。 - 綺麗にすることでガッコよくなる。可愛くなることを伝えている。 - チェックできちゃんと出ている子には褒めて、かっこいいやかわいいと声かけする。 - 出ていないところは本人に鏡を見てもらったり、洋服が出ている時には見てもらってどうする？と確認する。ダメではなく、こうするともっとかっこよくなる、可愛くなるという表現で伝えます。 - チェックした表は持ち帰ってもらい、家庭とも共有してもらっています。	①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ⑤人間関係・社会性